

普及現地情報

発信年月日：平成 29 年(2017 年) 5 月 22 日

所 属 名：湖東農産普及課

番 号：F17003

部 門 分 類：110 (作物)

発 信 者 名：中井・中川・山本

ＪＡ東びわこが「水稻高密度育苗・精密田植」の現地実演会を開催

去る 5 月 9 日、ＪＡ東びわこが、育苗および田植作業の省力・軽労化をはかる技術として注目されている「水稻高密度育苗・精密田植」の現地実演会を、多賀町土田（品種「キヌヒカリ」）と彦根市甘呂町（品種「コシヒカリ」）で実施しました。両地区ともに、約 40 人の担い手農家および関係機関の参加がありました。

水稻高密度育苗・精密田植は、1 箱当たり乾燥籾で 250 g～300g 程度を播種し、1 株当たり 4 本程度を移植する技術です。10 a 当りの使用箱数を慣行の約半分に削減できます。

本研修会では、水稻高密度育苗対応の 6 条植の田植機を用いて、1 箱当たり乾燥籾 300g を播種後に 16 日間育苗した苗を 50 株設定で移植しました。両地区ともに使用箱数は、10a 当たり約 7 箱（慣行約 15 箱）で、作業時間は 10a 当たりで約 20 分（慣行約 25 分）でした。また、欠株率は 4～5% でした。本技術は、田植作業中の苗の補給時間が少なくなることから、作業の省力・効率化が可能と考えられます。

今後、本技術の指導資料の作成に向けて、ＪＡ東びわこ等と連携して、その後の生育、収量などを調査するとともに、実践者にアンケート調査を行って、導入のメリットや技術上の問題点などを検証していきます。



ＪＡ東びわこが実演会の趣旨を説明



コシヒカリの苗（草丈 12～13cm、葉齢 2 葉）